



秋田大学 (秋田県)



秋田の豊かな自然と風土の中でひとりひとりのニーズに合わせた研修

◇大学紹介

○大学の概要



秋田大学は、国際資源学部、教育文化学部、理工学部、国際資源学部の4学部及び大学院からなる総合大学です。教員研修留学生を受け入れる教育学研究科は、教育文化学部の大学院で、その歴史は古く今日まで120有余年にわたり幾多の人材を教育、学芸、文化の各方面に送り出してきました。

秋田市は秋田県の県庁所在地で、東北に位置し、人口は約31万人、東北の主要都市の一つです。

秋田県は、世界自然遺産である「白神山地」、日本一の深さを誇る湖「田沢湖」などがあり、自然の美しさに溢れた地域です。自然豊かな山に囲まれ、各シーズンを通して、登山や温泉などを楽しむことができます。

○国際交流の実績

・国際交流協定校 (2018年10月現在)

57大学29か国・地域

・留学生数 (10月1日現在)

	2016年	2017年	2018年
留学生数	198人	215人	199人
教研究生数	0人	2人	1人

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

秋田県の小中学生は、文部科学省が実施している全国学力状況調査において、全国トップレベルの基礎学力があることが確認できています。優れた教育実践を展開する附属学校園を始めとする学校現場での観察実習のほか、研修の内容によっては、地域の現地調査、地域活動の見学体験等を実施するなど、教育資源及び地域資源を活用し、それぞれの専門科目の理解を深めることを目指します。

○受入定員 3名

○研修コースの概要

原則として研修コースは日本語研修期間を含む1年半ですが、日本語能力が十分な者については日本語教育を省くことも可能です。

・日本語教育

入門から上級までの日本語科目を開講しています。

・専門教育

①講義、演習、実習 ②授業の観察 ③個人研究

英語による講義は行っていませんが、個人研究については英語での指導も可能です。

・実習・見学・地域交流等の参加型科目

附属学校園を始めとする教育現場での観察実習を体験できます。また、研修の内容によっては、フィールドサイエンスを基礎として地域の現地調査を行い、住民との交流を通じた指導や調査分析を行ったり、また、県内のジオパークなどを題材に、地域振興や環境保全の取り組みを実施している自治体等の活動について、見学や体験ができます。

◇修了生へのフォローアップ

帰国後も、SNS等を通じた交流を行っており、修了生が日本での研修中に活用した教材により、母国において、教員を対象にシンポジウムを実施した旨の報告が寄せられています。

◇宿 舎

○本研修期間1年6月に対し留学生用宿舎の入居可能期間が1年間であるため、原則民間アパートへの入居をお願いしています。民間アパートの家賃は1ヶ月3万円~4万円程度(インターネット使用料・光熱費含まず)です。アパートは秋田大学生協を通じて探すことができます。

参照ホームページ: www.akita.u-coop.or.jp/living/

○大学周辺の生活情報、通学時間

研修生が通学する手形キャンパスはJR秋田駅から徒歩およそ15分に位置し、キャンパス周辺にはスーパー、銀行、郵便局、病院があり、また学生用の安価なアパートが数多くあるため買い物等も便利で快適に生活できます。



秋田犬



かんとう祭り



かまくら祭り

◇問合せ先

大学所在地: 〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

担当部署: 秋田大学 国際課 留学生交流・支援担当

連絡先: TEL +81-18-889-2258

FAX +81-18-889-3012

E-mail ryugaku@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学国際交流センターHP:

www.akita-u.ac.jp/honbu/inter/index.html

大学名： 秋田大学(大学番号05)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
05001	阿部 昇 教授	abe@ed.akita-u.ac.jp	国語科教育	国語科教育の理論、国語科教育の方法論。 国語科教育の授業研究。	日本語	2人	基礎的日本語能力を有すること。 5年以上の教職経験を有すること。(0人)
05002	外池 智 教授	stono@ed.akita-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育の理論、方法論、歴史教育、 郷土教育の理論、方法論。	日本語	2人	基礎的日本語能力を有すること。 5年以上の教職経験を有すること。(0人)
05003	林 武司 教授	thayashi@ed.akita-u.ac.jp	自然地理学・ 水文学	秋田の水環境を題材とした自然地理・環 境教育	日本語・英語	2人	基礎的日本語能力を有すること。(0人)
05004	高樋 さち子 准教授	takahi@gipc.akita-u.ac.jp	複合領域・環 境政策・環境 教育	環境問題を社会科学と現地調査からの融 合研究・ESDにおける環境教育。	日本語・英語	2人	英語でのコミュニケーションが可能なこと。(0人)
05005	川村 教一 教授	norihito@ed.akita-u.ac.jp	理科教育学	初等・中等教育における理科教材開発の 教育実践。	日本語	1人	英語・日本語での論文作成能力および会話能力。(0人)